

退職後日記

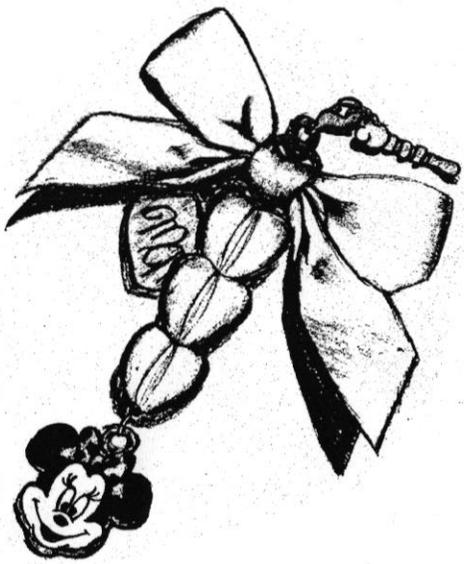
私は、今年三月三十一日、退職を迎える。

「退職後は、どうされるのですか。最近、周囲からよく聞かれて返答に困っている。」

目標とすべきものがつかめなっているのだ。といふより、三十八年間走り続けてきた今でも、最後まで教師としてもがいている自分がそこにいるのだ。

「ゴールの先に何かあるのか何が待ち受けているのか」

もちろんやりたいことはたくさんあるが、それがすぐ生活の中心軸になるとはいえない。やりたいこととすべきことは別の問題でもある。



「思えば、急行列車に乗って一本のレールを一本の道を走ってきた。」

これからは、道を進むことより景色を見ることを大切にしようか。景色の中に何か見つかるともいれない。各駅停車でゆっくり行ってもよし、途中下車だて自由だから……

私のダイアリー帳は四月以降、まっ白である。記入されない手帳をながめながら思う。

地に任く

福子ありと
福子ありと
福子ありと

保坂伸秋

福子
校長室
だより

福子日記

平成二十九年一月二十日(金)

NO. 127